

運転する阿部さんは複雑な心境

ロジックスライン セノプロ仕様のトラック導入

ロジックスラインを導入した。はこのほど、セノプロ仕様のトラックは、ドライ

バーのやりがいなどを考慮し、以前から導入を検討していたという沢田秀明社長。昨年の夏前に発注を掛けたという。

ようやく完成し、納車となった17日、本社事務所で納車式を執り行った。納車式で、同社長は、「今回導入したトラックは、否応なく目立つので、いい意味でも悪い意味でも注目が集まる」と指摘した上で、「模範運転をし、いい意味で目立ってほしいとあいさつした。同トラックに乗るのは阿部俊介さん。同社に入社してまだ1年というキャリアにもかかわらず新車である同トラックに乗れるのは、まさに大抜擢ともいえる。ただ、阿部さんは同社でのキャリアは1年だが、前職含め、17年のキャリアを持っているので、いわばベテランドライバーでもある。

納車式の様子



次男三女の5人の子供の父親でもある阿部さんは、「入社1年で新車に乗れるということ自体、予想外だが、加えてこ乗れないトラックに乗れるということはさらに予想外」と話し、嬉しさとプレッシャーが複雑に交差している心境を吐露する。

その上で、「今まで以上に安全に気を付けて、さらに気を引き締めて運転していきたい」と抱負を述べる。(高田直樹)